

東村山むさしの認定こども園

報告・連絡・相談体制

学園長

保育部

保育園の管理・運営・企画・決定
西本(保育現場管理・統括)
中曽根(施設・運営等管理)
東村(相談役)

運行環境部

庶務・事務

武智・藤田
幼保相互の補助
子育て支援事業等

預り保育

杉山(事務関係)
若生(教務関係)

購買部

教育部

幼稚園の管理・運営・企画・決定
小山(教務現場管理・統括)
辻(施設・運行等管理)
津田(相談役)

幼児

乳児

厨房

年長

年中

年少

課外

報告・連絡・相談は、必要とされると判断した場合、上の階層へ伝えてください。
各部において処理できると判断できる事項は、上の階層へ伝える必要はありません。
(的確な判断・執行の責任決定の可否も能力です)

※赤で示される階層は、適宜全体会議出席者です。



東村山むさしのグループ

(学)東村山むさしの 保育園

保育園の管理・運営・企画・決定
西本(保育現場管理・統括)
中曾根(施設・運営等管理)
東村(相談役)

(株)運行環境

(株)庶務・事務

武智・藤田
幼保相互の補助
子育て支援事業等

(株)預り保育

杉山(事務関係)
若生(教務関係)

(株)M-Labo

(学)東村山むさしの 幼稚園

幼稚園の管理・運営・企画・決定
小山(教務現場管理・統括)
辻(施設・運行等管理)
津田(相談役)

幼児部

乳児部

調理部

年長部

年中部

年少部

課外部

- 各部を会社に例え、イメージした組織図です。
- 各部が一つ一つの企業なので、その中での責任者は社長です。
- 親会社(出資元)は一つです。自分の会社がうまくいくように管理運営しなければなりません。
- また、グループ企業相互による連携体制の工夫により、環境向上・収益向上・合理効率化が見込めます。互いに出資をすることで、内部で資金を回すことができ、互いの収益になります。各グループ会社がともに報告・連絡・相談を欠かさず、企画・実行に移す工夫も必要となります。
- 事業内容や収支は親会社に報告をし、評価されます。

ひとつの会社が、各部となっているだけで、部課係など各階層の役割とは、それぞれが一つの会社の頭のような役割を持っています。会社に置き換えると、何をどのような意識でしなければならないかわかりやすいと思い、置き換えてみました。

